

平成 30 年度（2018 年度） 第 7 回 健康すいた 2 1 推進懇談会 議事録

- 1 開催日時 平成 31 年（2019 年）2 月 22 日（金）午後 2 時から午後 4 時まで
- 2 開催場所 吹田市立保健センター 3 階 研修室
- 3 出席委員 岡本 玲子委員、幸林 友男委員、西浦 勲委員、立木 靖子委員、
栗田 智代委員、山口 淳委員、栗田 恵子委員、山本 保治委員、
上原 達郎委員、長谷川 富美子委員、中谷 統子委員
- 4 欠席委員 御前 治委員、塩沢 貴弘委員、松本 仁委員
- 5 傍聴者 2 名
- 6 市出席者 岸 敏子健康医療部保健センター参事、
山野 由理子健康医療部保健センター参事、
横山 浩健康医療部保健センター参事、
久本 利恵健康医療部保健センター主幹、
齊藤 郁子健康医療部保健センター主幹、
村山 靖子健康医療部保健センター主幹、
米崎 俊行健康医療部保健センター主幹、
北野 順子健康医療部保健センター主査、
伊勢田 学健康医療部保健センター主査、
菊地 祥吾健康医療部保健センター主任
- 7 案件 (1) 健康すいた 2 1（第 2 次）中間報告について
(2) 吹田市の健康寿命について
(3) その他

<配布資料>

- 資料 1 健康すいた 2 1（第 2 次）中間報告案について
- 資料 2 吹田市の健康寿命について（当日配布）
- 参考資料 1 健康すいた 2 1 推進懇談会設置要領
- 参考資料 2 健康すいた 2 1 推進懇談会名簿
- 参考資料 3 健康すいた 2 1 推進懇談会の傍聴に関する事務取扱要領

【議事概要】

委員長：前回の懇談会におきまして、健康すいた21（第2次）の、計画作成時からの進捗状況について、ご議論いただきました。その議論経過を踏まえ、中間報告書案について、事務局から説明をお願いします。

事務局：＜資料1により説明＞

委員長：ありがとうございます。こちらの懇談会での意見をまとめた結果の中間報告となっております。今後の市としてあるいは団体として方向性など御意見をお受けしたいと思います。24ページ以降にそれぞれの団体の取り組みを載せておりますのでご意見をいただけたらと思います。まずは分野1について、いかがでしょうか。

委員：分野1ではないのですが、分野7の懇談会の意見で子どもの肥満や中学生女子のやせや高齢者の低栄養を前回お話しさせていただいたのですが、こどもや高齢者に向けての取組の方法が最近のところは健診だけになっているのですが、これらについて今後どうしていくかについては、どのような形を進めていくのか皆さんの意見をお聞きしたいです。

委員長：これらの取り組みについて少し教えていただけますでしょうか。

委員：高齢者については高齢福祉室がやっておりますが、高齢者のオーラルフレイルを重要視していますので、協力しながらできればと思っております。子どもについては健診などを通して、いろんなところと連携しながら取り組みを進めていきたいと考えております。

委員長：政策の充実に向けての取組があると思いますので、ご説明いただきありがとうございます。他にはありますか。

委員：前回ではあまり触れませんでした。ケアマネ塾で歯科医師会として講演をさせていただいて、概念について市民に対しても広めていきたい。オーラルフレイル啓発をしたいと考えています。

委員長：ありがとうございます。事務局からはありますか。

事務局：生活習慣病と歯周病の関係が市民に広まっていないので、オーラルフレイルについてもトレンドなので高齢福祉室と連携して取り組みたいと考えております。

委員長：予防が継続して行われることは良いことだと思いますので企画をお願いします。

委員：煙草について、制度の紹介などを市民にしていますが、他の皆さんはどうでしょうか。

委員：保健所の方は毎年病院に立ち入り検査をしておりますが、全面禁煙になっているところが少ないです。敷地内禁煙のところは増えています。金蘭千里大学の幸林副委員長からも説明があると思うが組織横断的に、酒たばこ食中毒感染症などいろんな分野で各大学などと連携して取り組んでいます。金蘭千里の学生たちが素晴らしい媒体を作ってくれています。ビエラ岸部健都内の飲食店のテナントが入っていますが、その中のほとんどの店舗が健康応援に参加していただいています。

委員長：ありがとうございます。ビエラとはなんですか？

委員：JR岸辺駅前に健都モールができています。その名称です。

委員長：大阪府の受動喫煙防止については如何でしょうか。

委員：検討中です。

委員長：ありがとうございます。例えばどんな取り組みを検討されているのでしょうか。

長委員：東京オリンピックへ向けて東京もやっているのです大阪も頑張っていこうと思います。

委員長：ありがとうございます。他にはご意見などありますかでしょうか。

委員：23 ページの分野8について評価困難とのことですが、最終年度への評価に向けての実績値が取ることができるかを聞きたいです。地区福祉委員会が行っているふれあい昼食会は目標値が設定されていますが、目標に向かって参加者を増やしていきたいが、吹田市の補助事業なので補助金の確保や、会場のキャパの問題として目標値に達する場所の確保が難しい現状です。今後の課題です。

委員長：次へ向けて目標値の見直しが必要かもしれません。事務局から分野8についてなにかありますか。

事務局：本計画につきましては、策定時にアンケートを取って目標値を設定しています。平成31年度から、次期計画策定に向けてアンケートを実施したと考えております。その中でより市民の皆様方の健康づくりをより推進できるようなアンケート調査をしたいと考えておまして、皆様のご意見を伺いたいと思っています。

委員長：ありがとうございます。委員お願いします。

委員：数字の動きから見ますと若干の変動があり、サンプル誤差の数字ではないかと思えます。最終報告にはどういう基準の数値が使われたかを掲載してほしいです。分野1については食塩を多く取るのをやめましょうという施策がありますが、一食当たりの食塩量を提示するなどすれば効果が出るのではと思います。

委員長：どういうデータを根拠にこの数値が出ているかを一覧にして、詳しく見たいです。

委員：参考資料として必要になるのではと思います。

委員長：4ページ以降の参考資料をもう少し詳しく掲載することで根拠となる数字が示せるのではないかと思います。

委員：母集団の根拠など掲載して欲しいです。

委員長：統計的に母集団の根拠を明確にして欲しいという御意見でした。

副委員長：食塩を減らすにはどうしたらいいか等、国循のかるしおレシピを見ると参考になると思いますので、見ていただければ判りやすいと思います。

委員長：他にご意見はありますか。

委員：私は後期高齢者になったので子どものことは分かりませんが、主人と二人で健康に暮らしているのは、食事や運動に気を付けているからです。皆さんがどうしたら元気に100歳を目指して健康に過ごすということはすごく難しいと思います。私のまわりでは配偶者の半数が亡くなっています。生活のことなどで質問がありましたら、私達のことでも参考になればお伝えしたいと思います。食生活にも気を使い、スポーツをしたり、健診を受けたりしています。食事との関係などでここまでこれていると思いますので、聞きたいことがあればお答えします。

委員長：ベスト健康管理賞みたいなものがあればいいですね。

委員：. 50歳の時に私の健康づくりというものに応募しましたら特選になり、紙面に
取り上げられたことがあります。70歳になっても背筋の伸びた生活がしたいと書
いていたのを最近見つけて、小論文を書いたらこの懇談会に指名されたので、責任
を果たしたいと思い参加させていただいています。

委員長：エネルギーをいただいています。

委員：健康づくり推進事業団は設立から30年になりますが、運動を主体にしてい
ますが、運動をする人は基本的に健康な人なので、少しシフトしていきたいと考
えています。たばこに関するリーフレットの配布や、がん検診事業の紹介、チャレンジ
デーではさんくらぶさんをお願いしてs a pシステムを使った健康な方にも健康
を意識してもらうよう取り組んでいます。この中間報告の中に連携をしてという文
言が多く見受けられるが市民の方がこれを見て、どのように連携するのかなどイメ
ージしにくいと感じます。連続性があるのか等を市民の立場から見ることができな
いか、どのようなイメージを市が持っているのか具体的な施策を示してほしいです。

委員長：数値だけでなくどのように連携しているのかを見せていくのが必要ではとのご
意見でした。

委員：学校開放の関係で年度末には必ず教室などの参加人数を出しています。それを文
化スポーツ推進部でまとめてもらっています。スポーツ事業の結果などを提出して
います。年々数値は上がっていると思います。

委員長：いろんな連携がされているとの事です。最後に副委員長お願いします。

副委員長：いろいろ御意見をいただきましたが、目標値を意識してもそこまで持って行
けないこともあるかと思いますが、こういった取り組みは何年もかかって成果が出
てくるものがありますので、長い目で見る必要があると思いますが、市としては予
算を使っているのです、こういった取り組みが長く続けられるように予算計上などお
願いします。大学での取組は学生を主に対象にしていますが、吹田市と合同で吹田
くわいの認知度の向上、栽培を始めまして、保健所の長谷川委員からもお話しがあ
りましたが、うちの学生が参加してチラシを作っていましたのを、委員の方にお配
りしますので、ご確認ください。そのクリアファイルは吹田くわいについて知って
もらおうと作成されました。その裏面には吹田くわいを知っている？として、吹田

くわいの特徴などを印刷し、中には慈姑を使ったレシピ集を入れています。吹田くわいは非常に小さいのでどのように調理するかをレシピにしました。吹田市の都市魅力部シティプロモーションとのコラボでやっておりますので、この懇談会にはこれまで出てきませんでした。先日、市役所の駐車場で苗を配って各家庭で栽培してもらっています。吹田くわいを使った調理講習会も開催しました。これには市長も参加しました。正月料理としましてはお雑煮にしたり、ナッツのようにケーキに入れたりと普及活動をしています。販売場所も少なく生産量も少ないので普及に力を入れていきたい。ファイルの中には大学生に向けた「心と体は健康ですか？」という用紙も入れています。千里金蘭大学の学生が保健所で実習をした際に作って、管内の5大学の新生入生に配布するよう取り組んでいます。大阪大学は新生入生だけでも1000人を超えるのでネット配信ですが、千里金蘭大学や大和大学、大阪学院大学には用紙の配布を計画しています。痩せすぎ、肥満の絵が極端すぎたのもう少し何とかなら以下と思いました。こういった活動を保健所とやっていますという紹介でした。

委員長：ありがとうございます。沢山の御意見を頂戴しました。中間報告書のとりまとめをよろしくお願ひします。それでは案件2について事務局からお願ひします。

事務局：＜資料2により説明＞

委員長：ありがとうございます。ご意見はございますでしょうか。そうしましたら健康寿命の延伸に向けて計画を進めていければと思います。それでは次の案件 その他について事務局からお願ひします。

事務局：今後の予定ですが、本計画は平成32年度までの計画となっております。先ほども触れましたが、平成31年度にはアンケート調査の実施を予定しておりますので、調査項目についてのご意見をお願ひしたいと思ひます。また年度替わりで委員が変わる場合は出来ましたら引き継ぎをお願ひします。

委員長：ありがとうございます。今回でこの懇談会は最後となりますので委員の皆様より一言ずつ感想をお願ひします。副委員長から右回りでお願いします。

副委員長：任期は5月までですが、いろいろと取り組みをやっても成果が見えてこないことがあります。子どもの欠食が解消されているのか、20代の欠食率は減っているかというところでは成果が見えていませんが、少しずつ改善していきたいと思ひます。この3月で定年を迎えますが、4月から再雇用制度がありますので、大学には残る

予定がありますので今後もお世話になると思いますのでよろしくお願いします。

委員：2年間お世話になりました。数値の目標値はハードルの高い数値ですが、あきらめてしまうとクリアできないので様々な活動を通してクリアできてくるものだと思いますので、3年後には成果が出ると思いますので、事業を継続していきたいと
思います。歯科医師会として取り組んでいきます。堀ちえみさんのニュースもありましたが、口腔癌は発見しにくいものですが、口腔歯科相談という形で健康展に来られた一般の方に健診をしています。徳洲会の医師の輪番で健診をしていただいております。市民の方が受診しやすいように考えています。市民健診に持ち込むのは難しいかもですが、健診の形を考えていきたいと
思います。

委員：いろんな立場の人が取り組んでいるのを見せていただきました。学校内の薬剤師会として役割を果たしているかと思いますが、地域の薬局としてはドラッグストアが多くなり役割が果たせなくなっていますが、相談に対して医師の紹介などOTCはドラッグストアで買った方が安い、医師の処方箋は薬局にと棲み分けが出来てきています。薬剤師の数は増えていますが市内薬局で働く人が多くなっています。これからどういう形で関わって行けるか考えました。ドクター自身が地域の方と関わっていますが、2・30年の間に変わってきたので、学校薬剤師や店頭でお話しながら役割を担っていき
たい。

委員：刺激になりました。社会福祉協議会は、小学校校区に一つずつあります。地域福祉の場では高齢者から赤ちゃんまで市民の皆さんの健康にかかわる役割を担いたい
と思います。災害時の市民の方の健康管理も考えていかないといけないと思いま
す。昨年災害ボランティアセンターを開設しました。大規模災害が起こった場合の避難所での健康管理など必要になってくると
思いますので、皆さんと考えていけたら
と思います。

委員：商工会議所は健康づくりと縁が薄い団体だと思いますが、労働安全保健に基づく健康診断を広げている活動をして
います。大手企業は会社内の産業医さんがサポートしていますが、中小企業ではなかなか進んでいません。大腸がん検診等の
オプションを付けたりと、工夫をして健診の受診率をあげていきたいと思
います。

委員：さんくらぶでは去年で創立30年を迎えまして、地域の栄養などに携わってきた団体です。検診に来られる世代の方は自身の体を置いて働いていたり、それ以降の世代では見た目重視の食生活を送っており、毎日3食食
べるのが大事だと常に伝えていくことが大事ですが、大学生の時期にバランスよく食
べるのが大事だと知

っていくことが親世代になった時に気づいていくことが大事だと啓発していきたいです。

委員：いい吹田で生まれてきてよかったと感謝しています。微力ではありますが地域の高齢者に啓もうしていきたいです。

委員：32年度まで2次計画が続きますが、吹田市は32年から中核市になると思いながらこの計画を見ていましたが、私達の技術などを継承していきたいと思います。市民委員とも知り合えてよかったです。

委員：中間報告を取りまとめていただき事務局の方ありがとうございました。健康づくり推進事業団という名前に負けないよう、コーディネーターとして形作っていききたいです。

委員：引き継ぎもなかったのですが、各団体の御意見を聞かせていただき、うちの団体もきちんとやって行かなければと思います。

委員長：ありがとうございました。活動を知ることができ、勉強をさせていただき大学人として、計画を作っていくに当たり、検討できるような方向になればと思います。

事務局：活発な御意見をいただきお力をいただきありがとうございました。各団体の考えもあるかと思いますが、今後につきましてもご尽力いただければと思います。ありがとうございました。

委員長：それでは終了させていただきます。